

## 平成22年 東京都のHIV感染者・AIDS患者の動向及び 検査・相談事業の実績



### HIV感染者・AIDS患者の発生動向

- ・平成22年、東京都に新たに報告されたHIV感染者とAIDS患者数は509件となり、過去3位であった。
- ・全国の報告数に占める東京都の割合は、HIV感染者で約37%、AIDS患者は約23%であった。
- ・国籍別、性別のHIV感染者とAIDS患者報告数をみると、日本国籍男性の割合が高く全体の約88%を占めている。
- ・推定感染経路別にみると、HIV感染者の約91%、AIDS患者の約79%が性的接触であり、同性間性的接触が多い。
- ・年齢別にみると、HIV感染者報告数は20歳代と30歳代が多く、AIDS患者報告数は、30歳代以上に多い。
- ・推定感染地域をみると国内が多い。
- ・ニューモシスチス肺炎の発症を契機とするAIDS患者報告が多く、AIDS患者報告数の約半数を占めている。



### 相談・検査・療養体制

- ・平成22年、エイズ電話相談件数は、都内保健所、「東京都エイズ電話相談」全てで前年と比べ減少した。
- ・「東京都エイズ電話相談」の相談者は男性が多く、20歳代と30歳代が多い。相談内容は、感染不安や感染経路に関するものが多い。
- ・平成22年、HIV検査件数は、都内保健所、東京都南新宿検査・相談室全てで前年と比べ減少した一方、陽性件数、陽性率は前年と比べ増加した。
- ・免疫機能障害による身体障害者手帳の交付数は年々増加し、平成22年ではHIV感染者とAIDS患者の累積報告数の約7割近くを占めている。
- ・梅毒の陽性率は男性が高く、淋菌、クラミジアの陽性率は女性が高い。

本「AIDS News Letter No.135（資料編）」は、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づいて、東京都に平成22年に法定報告されたHIV感染者とAIDS患者の統計及び区・都の保健所等における相談・検査業務の実績をまとめ、分析したものである。

なお、HIV感染者・AIDS患者の報告数、相談件数、検査件数については、過去のデータを見直し、更新されている。

図表中では、平成をH、平成元年をH1、東京都南新宿検査・相談室を南新宿と記載した。平成19年度4月より八王子保健所は八王子市保健所となったが、経年比較をするため従来の都保健所に含めて計上している。また、特別区保健所、八王子市保健所と東京都保健所を合わせて、都内保健所と表現した。

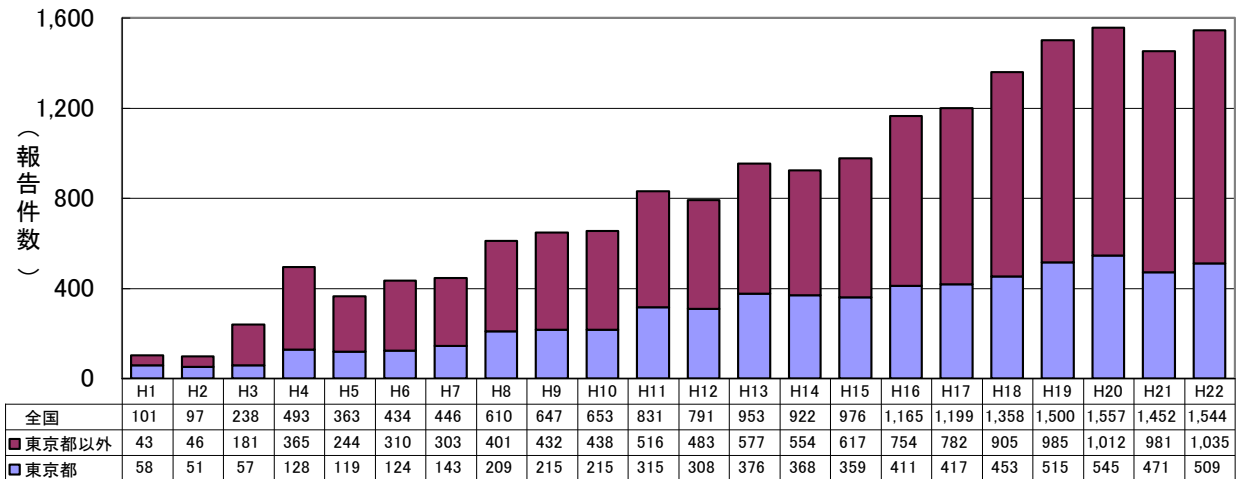
# 目 次

I HIV感染者及びAIDS患者の発生動向			
P.3	1-1	HIV感染者とAIDS患者の総計	東京都と全国の報告数年次推移
	1-2	HIV感染者とAIDS患者の総計	東京都の推定感染経路別報告数年次推移
	1-3	HIV感染者とAIDS患者の総計	東京都の推定感染地別報告数年次推移
P.4	1-4	HIV感染者とAIDS患者の総計	東京都の国籍別・性別報告数年次推移
	1-5	HIV感染者とAIDS患者	東京都のHIV感染者とAIDS患者報告数年次推移
	1-6	HIV感染者とAIDS患者	全国のHIV感染者とAIDS患者報告数年次推移
P.5	1-7	HIV感染者とAIDS患者	東京都以外のHIV感染者とAIDS患者報告数年次推移
	1-8	HIV感染者	全国に占める東京都のHIV感染者報告数割合年次推移
	1-9	HIV感染者	東京都のHIV感染者の国籍別・性別報告数年次推移
P.6	1-10	HIV感染者	東京都のHIV感染者の推定感染経路別報告数年次推移
	1-11	HIV感染者	東京都の日本国籍男性におけるHIV感染者の推定感染経路別報告数年次推移
	1-12	HIV感染者	東京都のHIV感染者の年齢別・推定感染経路別報告数（平成22年）
P.7	1-13	HIV感染者	東京都のHIV感染者の年齢別報告数年次推移
	1-14	AIDS患者	全国に占める東京都のAIDS患者報告数割合年次推移
	1-15	AIDS患者	東京都のAIDS患者の国籍別・性別報告数年次推移
P.8	1-16	AIDS患者	東京都のAIDS患者の推定感染経路別報告数年次推移
	1-17	AIDS患者	東京都の日本国籍男性におけるAIDS患者の推定感染経路別報告数年次推移
	1-18	AIDS患者	東京都のAIDS患者の年齢別・推定感染経路別報告数（平成22年）
P.9	1-19	AIDS患者	東京都のAIDS患者の年齢別報告数年次推移
	1-20	AIDS患者	東京都のAIDS指標疾患（平成22年）
II 相談・検査・療養体制			
P.10	2-1	エイズ電話相談	東京都のエイズ電話相談件数年次推移
	2-2	エイズ電話相談	「東京都エイズ電話相談」における相談者の性別（平成22年）
	2-3	エイズ電話相談	「東京都エイズ電話相談」における相談者の年齢（平成22年）
P.11	2-4	エイズ電話相談	「東京都エイズ電話相談」の相談内容（平成22年）
	2-5	HIV検査	東京都のHIV検査件数年次推移
P.12	2-6	HIV検査	東京都のHIV検査における陽性件数・陽性率年次推移
	2-7	医療機関	東京都のHIV感染者報告の届出別割合（平成17年～平成22年）
P.13	2-8	身体障害者手帳	東京都のHIV感染者・AIDS患者累積報告数と身体障害者手帳（免疫機能障害）交付数年次推移
	2-9	性感染症検査	東京都内の保健所、東京都南新宿検査・相談室での性感染症検査件数と陽性件数（平成22年）
III 世界及び全国のHIV感染者・AIDS患者数			
P.14	世界のHIV/AIDS流行状況2009年末現在（UNAIDS/WHO）		
	日本のHIV感染者、AIDS患者累計数2010年末現在（厚生労働省）		

# 1. HIV感染者及びAIDS患者の発生動向

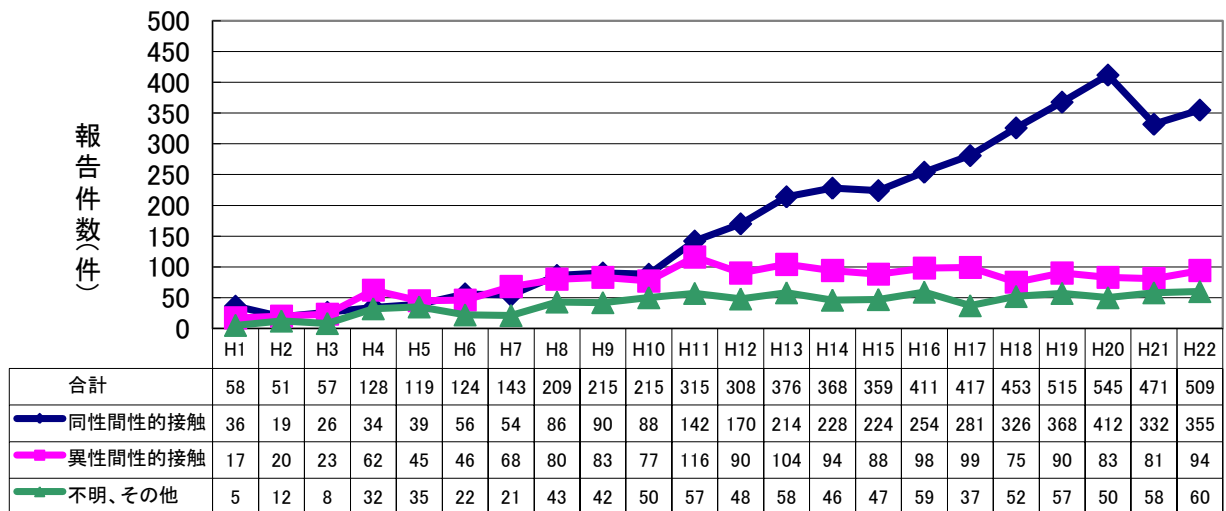
[ HIV感染者とAIDS患者の総計 (HIV+AIDS) ]

1-1  
東京都と全国の報告数  
年次推移



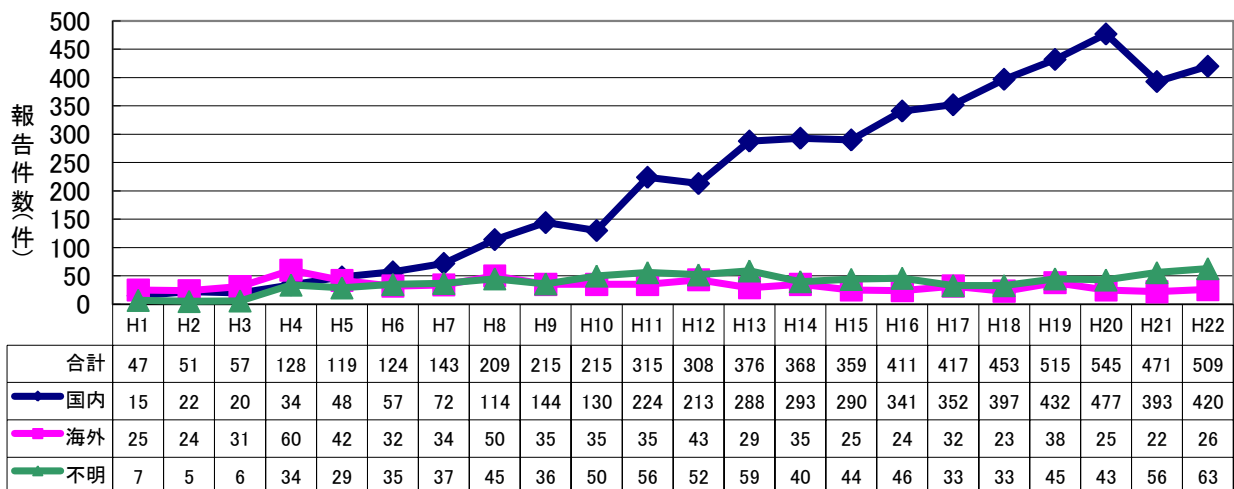
東京都、東京都以外にも前年と比べ報告件数が増加した。全国で見ると、7年連続で1,000件を超えた。

1-2  
東京都の推定感染経路別報告数  
年次推移



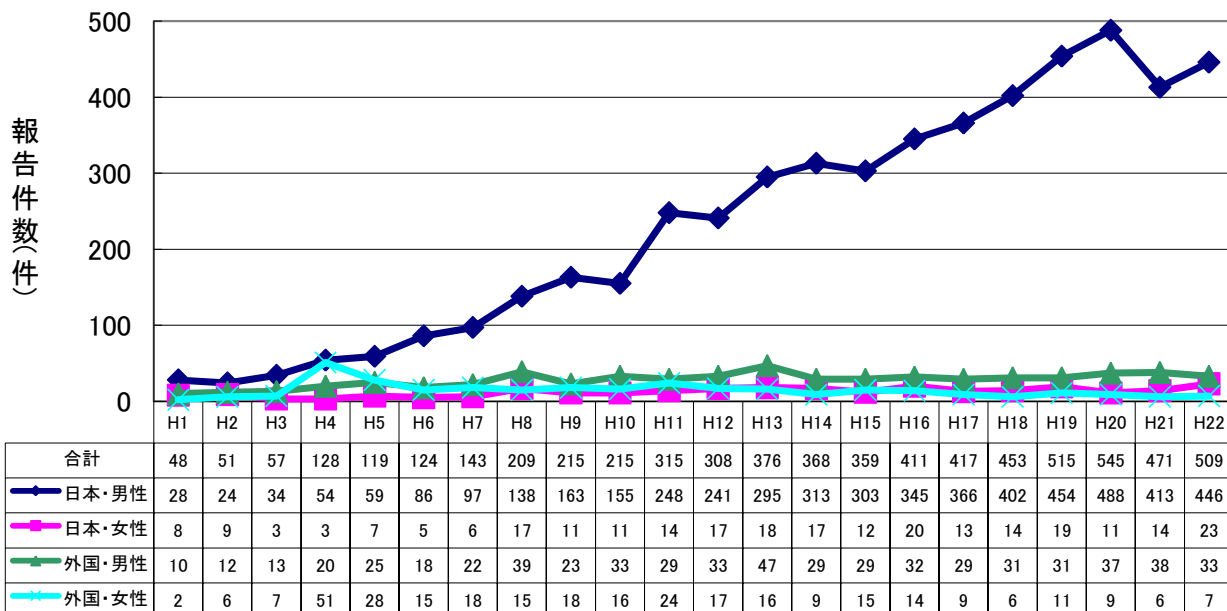
同性間性的接触による報告数は、平成16年以降年々増加し、平成21年は一旦減少したが、平成22年は再度増加した。異性間性的接触は、この数年は横ばい傾向となっている。

1-3  
東京都の推定感染地別報告数  
年次推移



国内の推定感染地報告が、平成16年以降年々増加し、平成21年は一旦減少したが、平成22年は再度増加した。

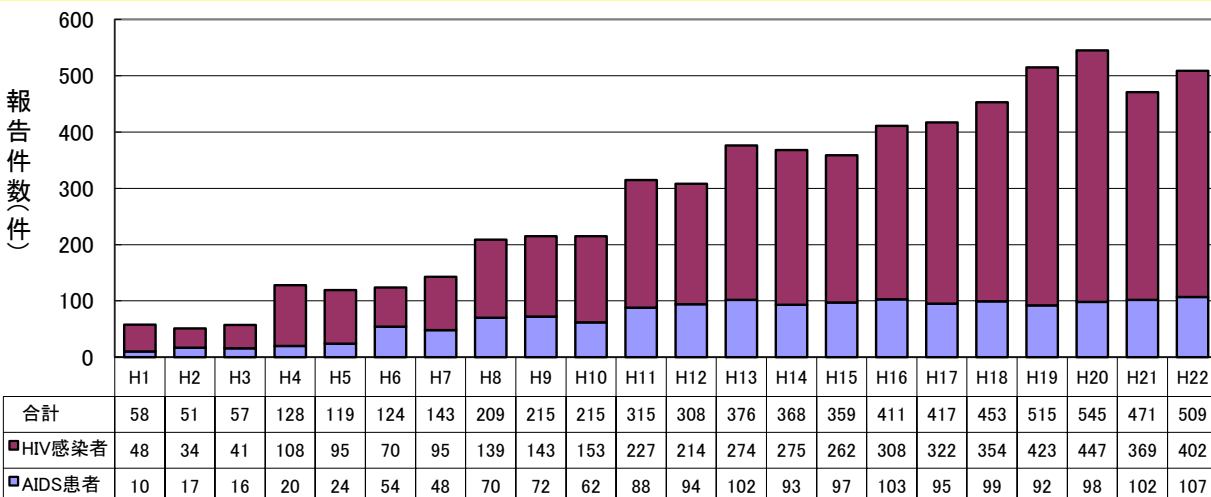
1-4  
東京都の国籍別・性別報告数年次推移



日本国籍男性の報告数が、平成16年以降年々増加し、平成21年は一旦減少したが、平成22年は再度増加した。

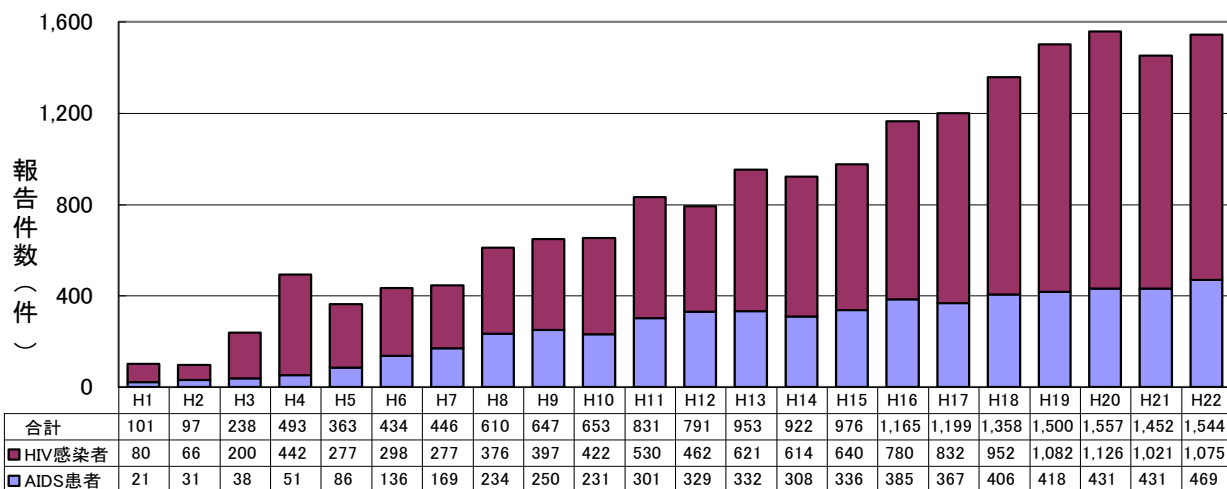
[ HIV感染者とAIDS患者 (HIV/AIDS) ]

1-5  
東京都のHIV感染者とAIDS患者報告数年次推移



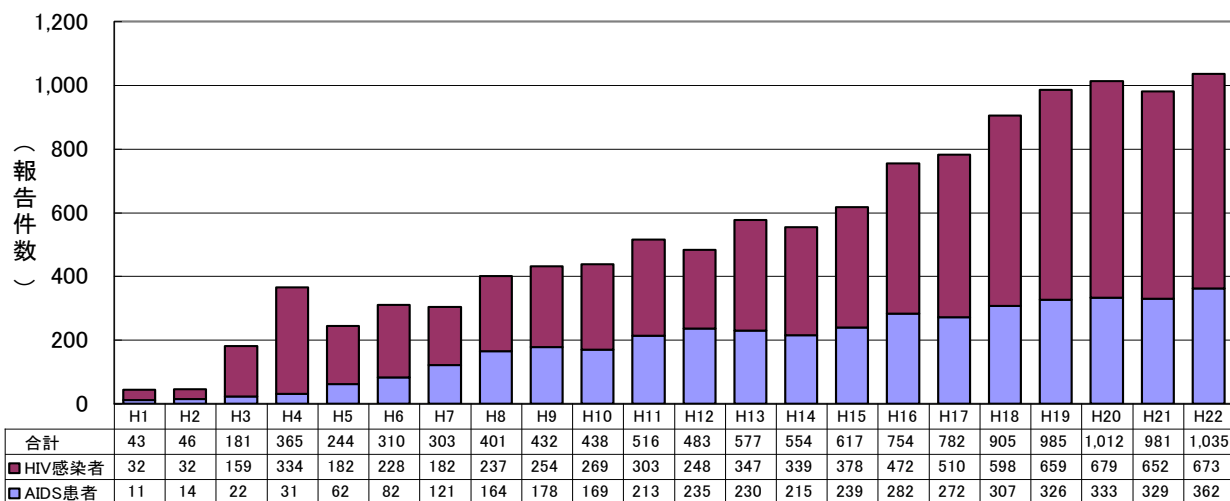
東京都におけるHIV感染者報告数は、平成16年以降年々増加し、平成21年は一旦減少したが、平成22年は再度増加した。AIDS患者報告数は3年連続で増加した。

1-6  
全国のHIV感染者とAIDS患者報告数年次推移



全国におけるHIV感染者報告数は、平成15年以降年々増加し、平成21年は一旦減少したが、平成22年は再度増加した。AIDS患者報告数は前年から1割弱増加した。

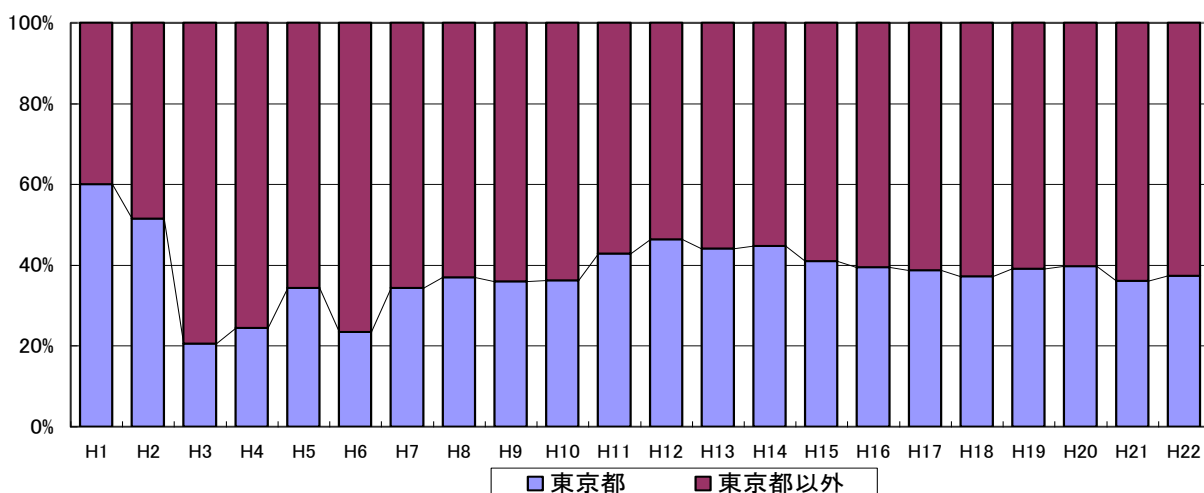
1-7  
東京都以外の  
HIV感染者とAIDS患者  
報告数年次推移



平成22年、東京都以外においても、HIV感染者、AIDS患者報告数ともに増加した。

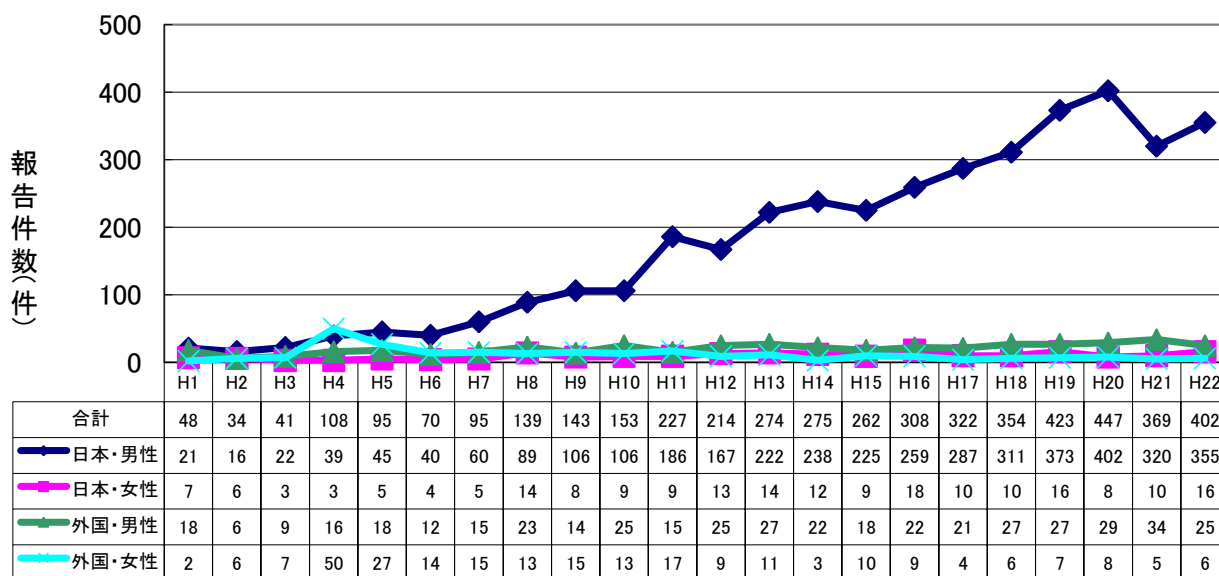
[ HIV感染者 (HIV) ]

1-8  
全国に占める  
東京都の  
HIV感染者  
報告数割合  
年次推移



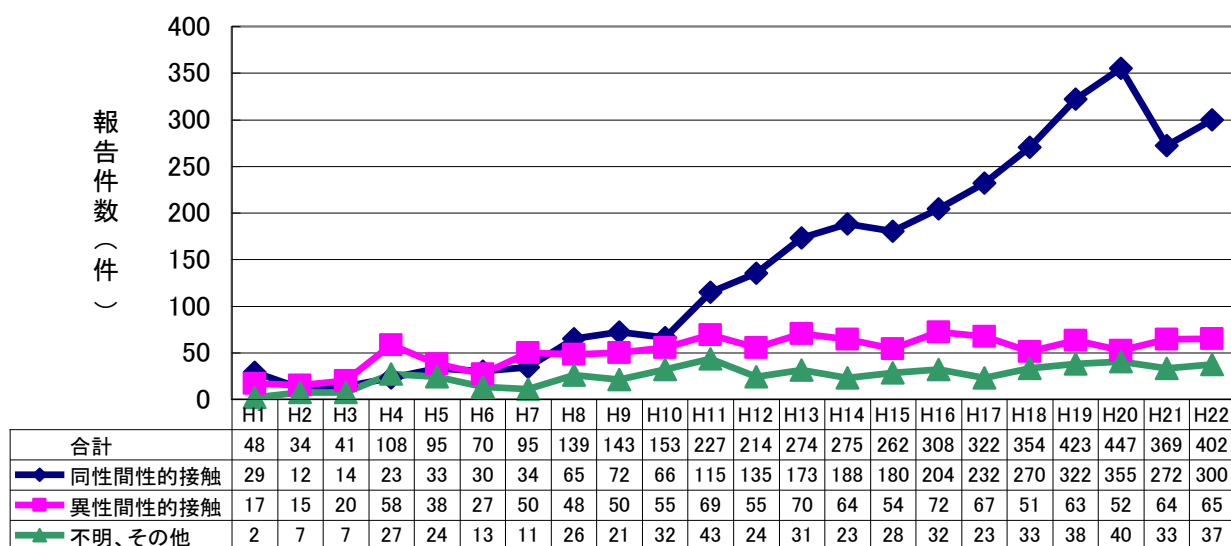
東京都のHIV感染者報告数は、近年、全国の4割弱で推移している。

1-9  
東京都の  
HIV感染者の  
国籍別・  
性別報告数  
年次推移



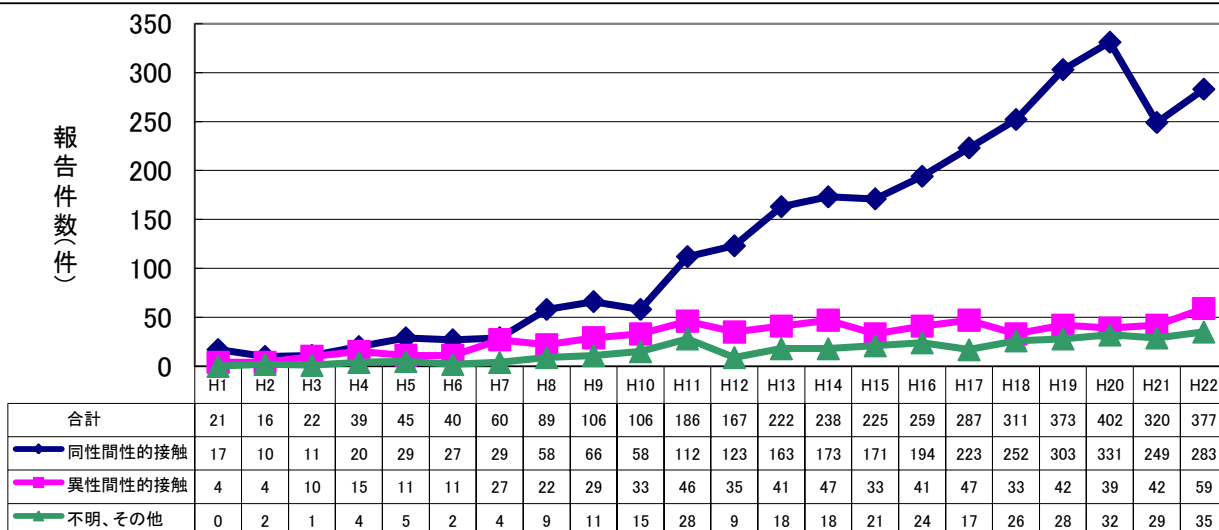
平成16年以降、日本国籍男性の報告数は増加していたが、平成21年は減少し、平成22年は再度増加した。

1-10  
東京都の  
HIV感染者  
の推定感染  
経路別報告  
数年次推移



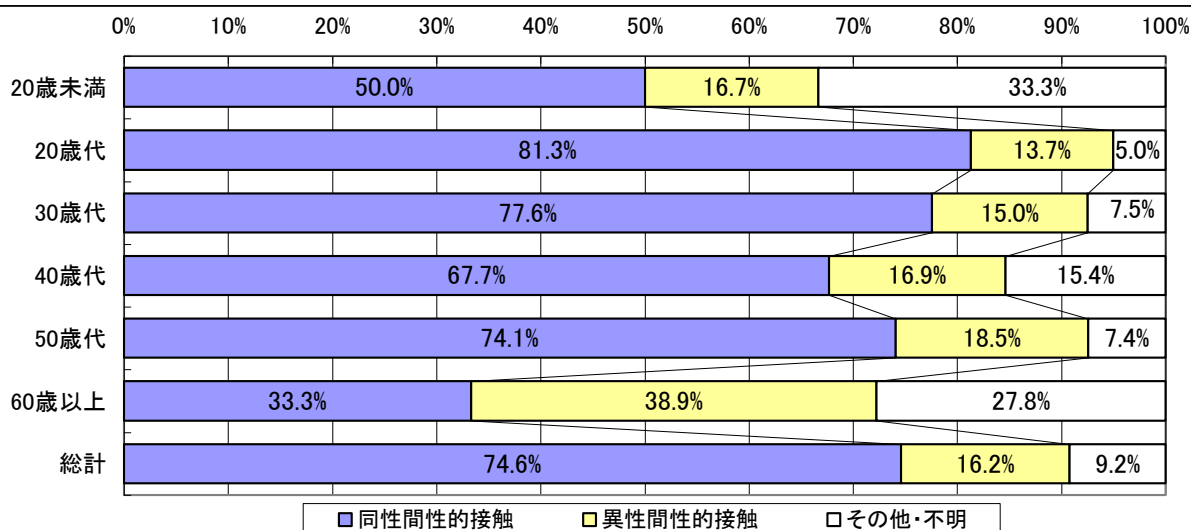
平成16年以降、同性間性的接触の報告数が増加していたが、平成21年は減少し、平成22年は再度増加した。

1-11  
東京都の日本国籍男性  
における  
HIV感染者  
の推定感染  
経路別報告



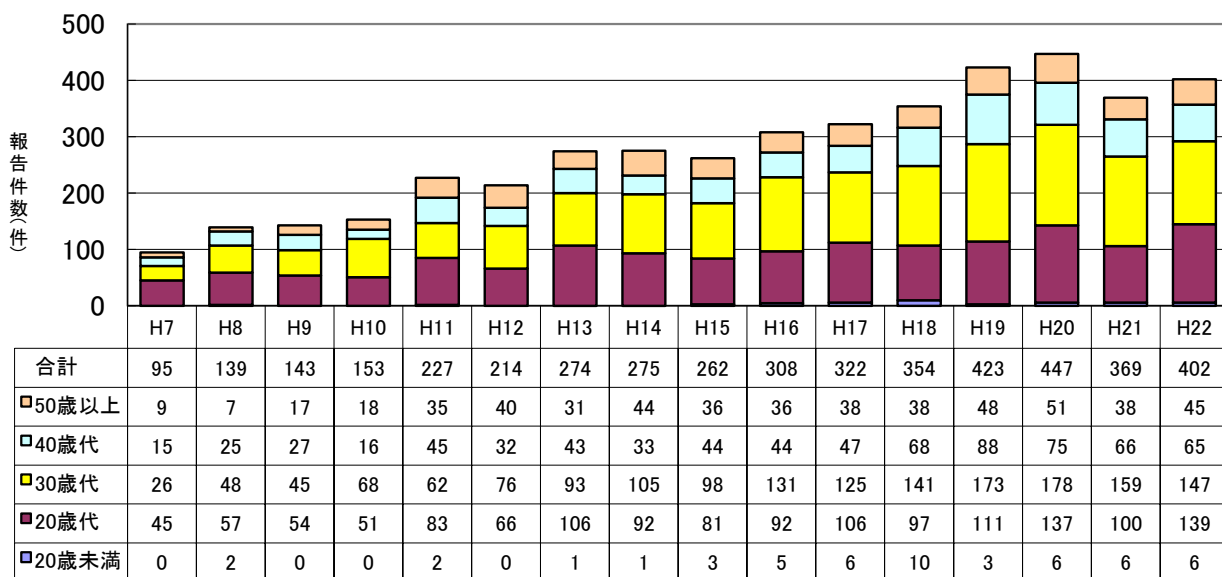
HIV感染者報告数の多い日本国籍男性でみると、平成16年以降同性間性的接触の報告数が増加していたが、平成21年は減少、平成22年は再度増加した。一方、異性間性的接触の報告数はこの数年は横ばい傾向となっている。

1-12  
東京都の  
HIV感染者  
の年齢別・  
推定感染経  
路別報告数



20歳代においては、同性間性的接触による感染の割合が約8割を占めている。30～50歳代の各年代においては、同性間性的接触による感染の割合が約7割を占めている。

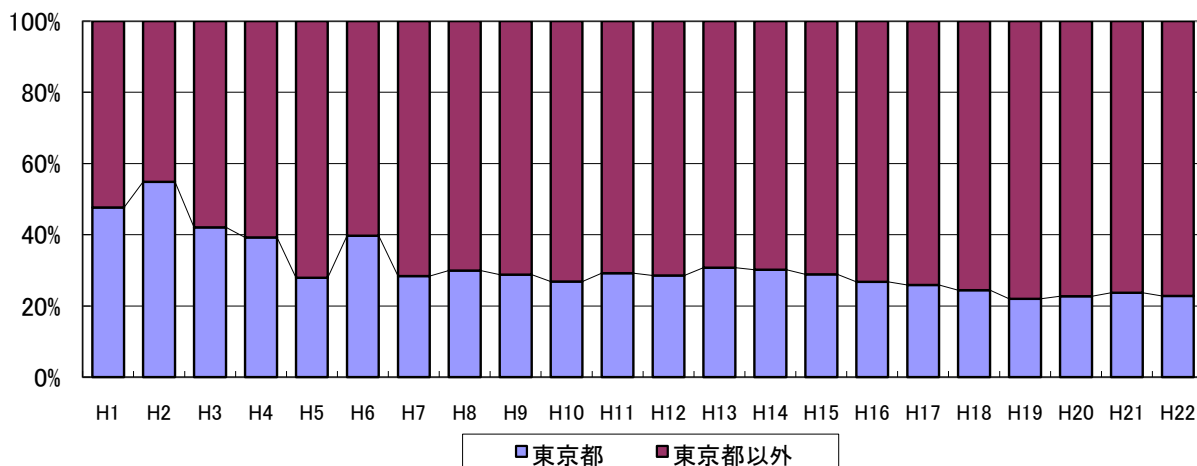
1-13  
東京都の  
HIV感染者  
の年齢別報  
告数年次推  
移



平成22年は、20歳代と50歳以上の報告件数が増加、それ以外の年代においての報告件数は横ばいもしくはやや減少傾向であった。

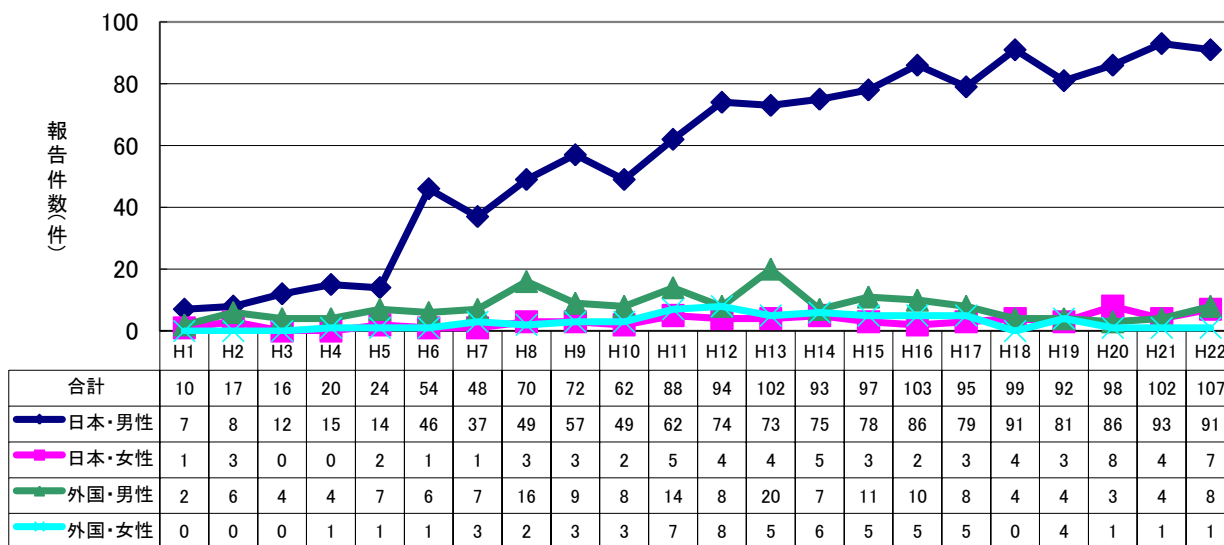
[ AIDS患者 (AIDS) ]

1-14  
全国に占め  
る東京都の  
AIDS患者報  
告数割合年  
次推移



東京都のAIDS患者報告数は、近年、全国の約4分の1で推移している。

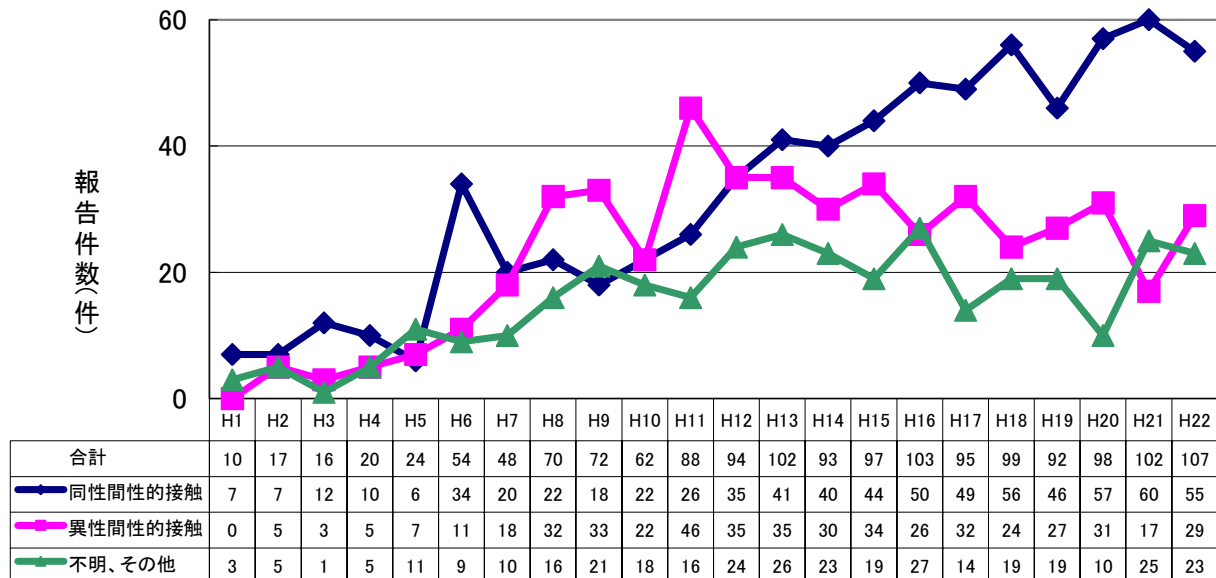
1-15  
東京都の  
AIDS患者の  
国籍別・性  
別報告数年  
次推移



日本国籍男性の報告数は、平成8年以降増加傾向である。日本国籍女性や外国国籍では、大きな変化はない。

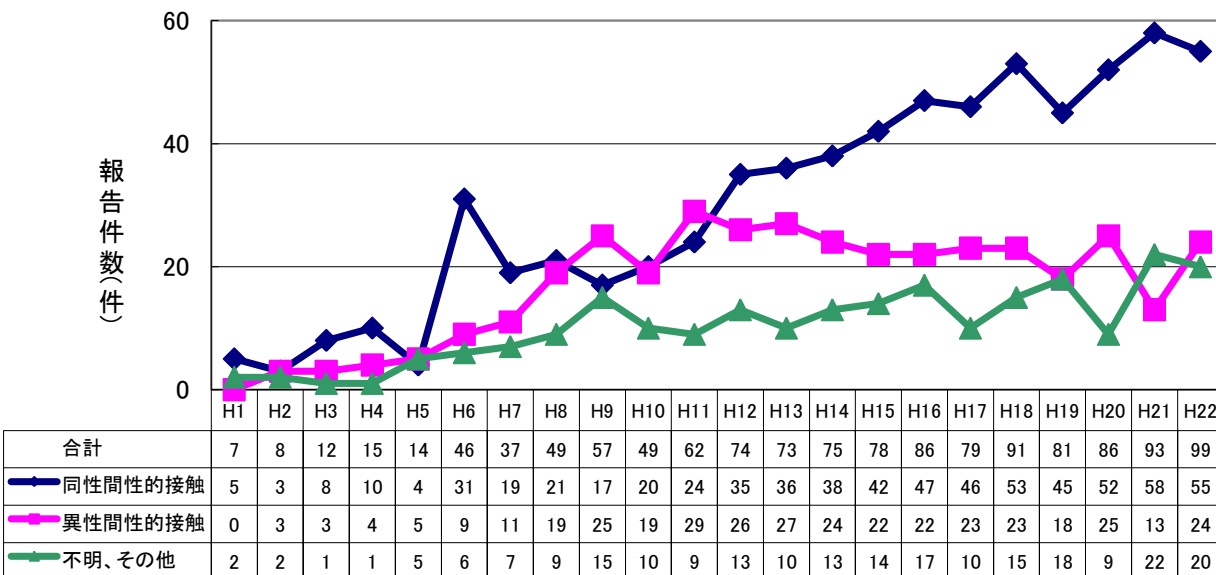


1-16  
東京都の  
AIDS患者の  
推定感染経  
路別報告数  
年次推移



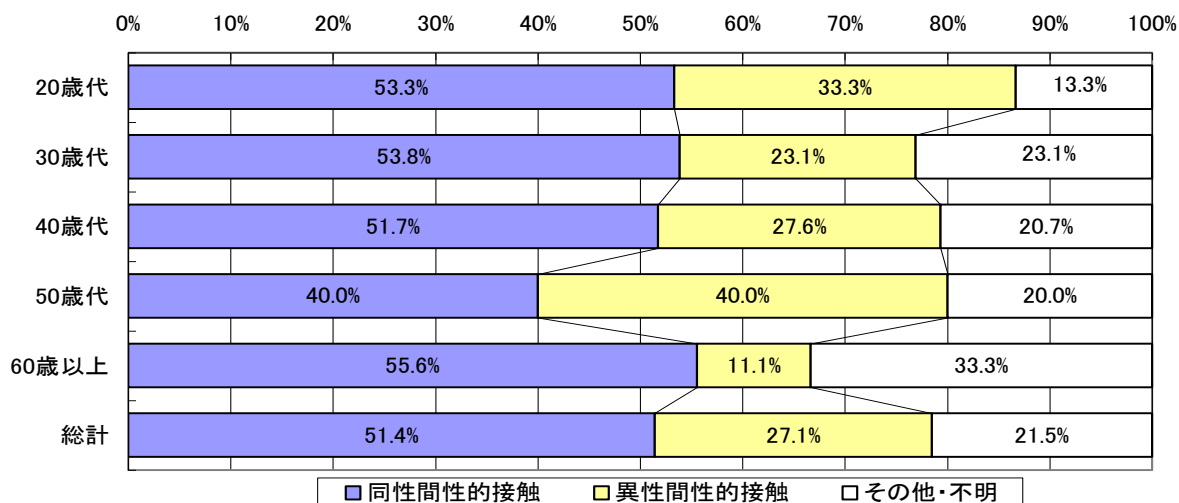
平成13年以降、同性間性的接触の報告数が、異性間性的接触の報告数を上回っている。

1-17  
東京都の日本国籍男性  
における  
AIDS患者の  
推定感染経  
路別報告数



AIDS患者報告数の9割を占める日本国籍男性でみると、平成12年以降、常に同性間性的接触の報告数が異性間性的接触の報告数を上回るようになっており、増加傾向にある。

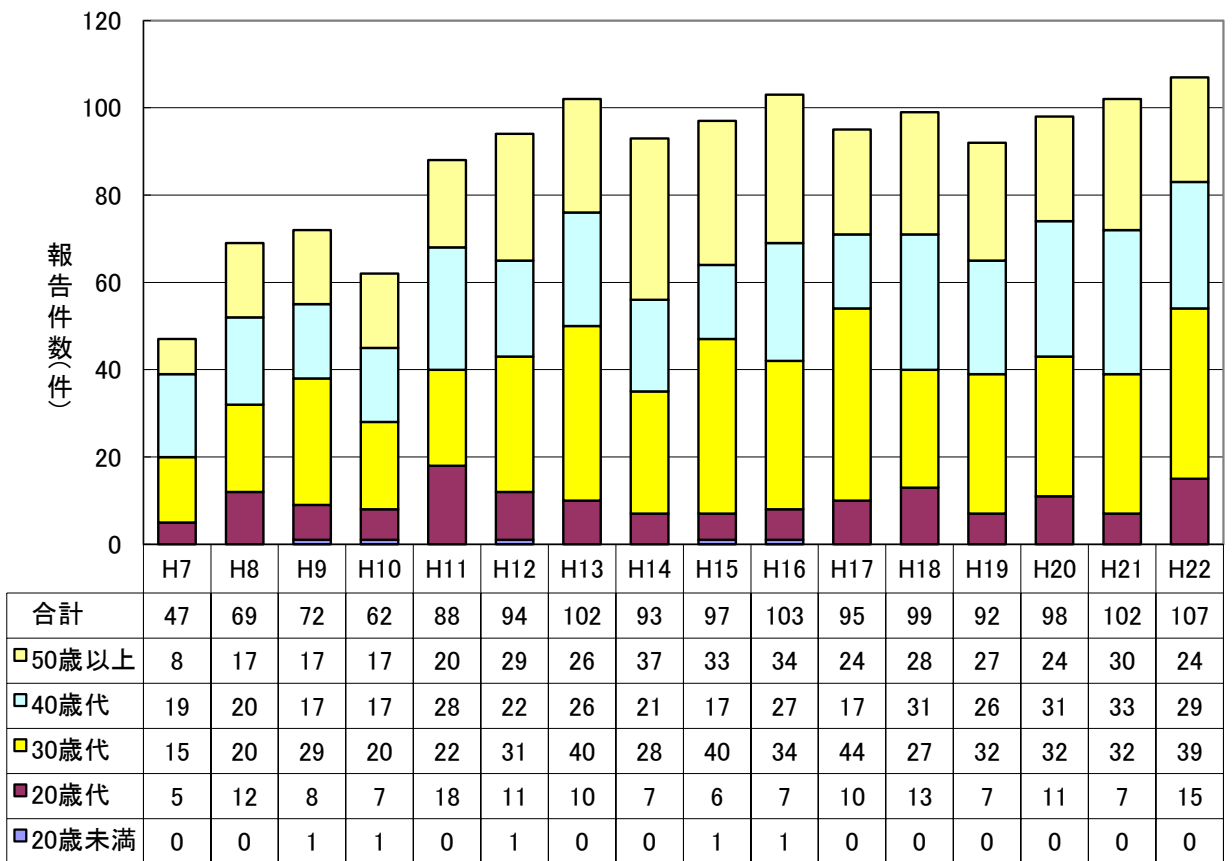
1-18  
東京都の  
AIDS患者の  
年齢別・推  
定感染経路  
別報告数



50歳代を除く全ての年代において、異性間性的接触よりも同性間性的接触の割合が大きくなっている。

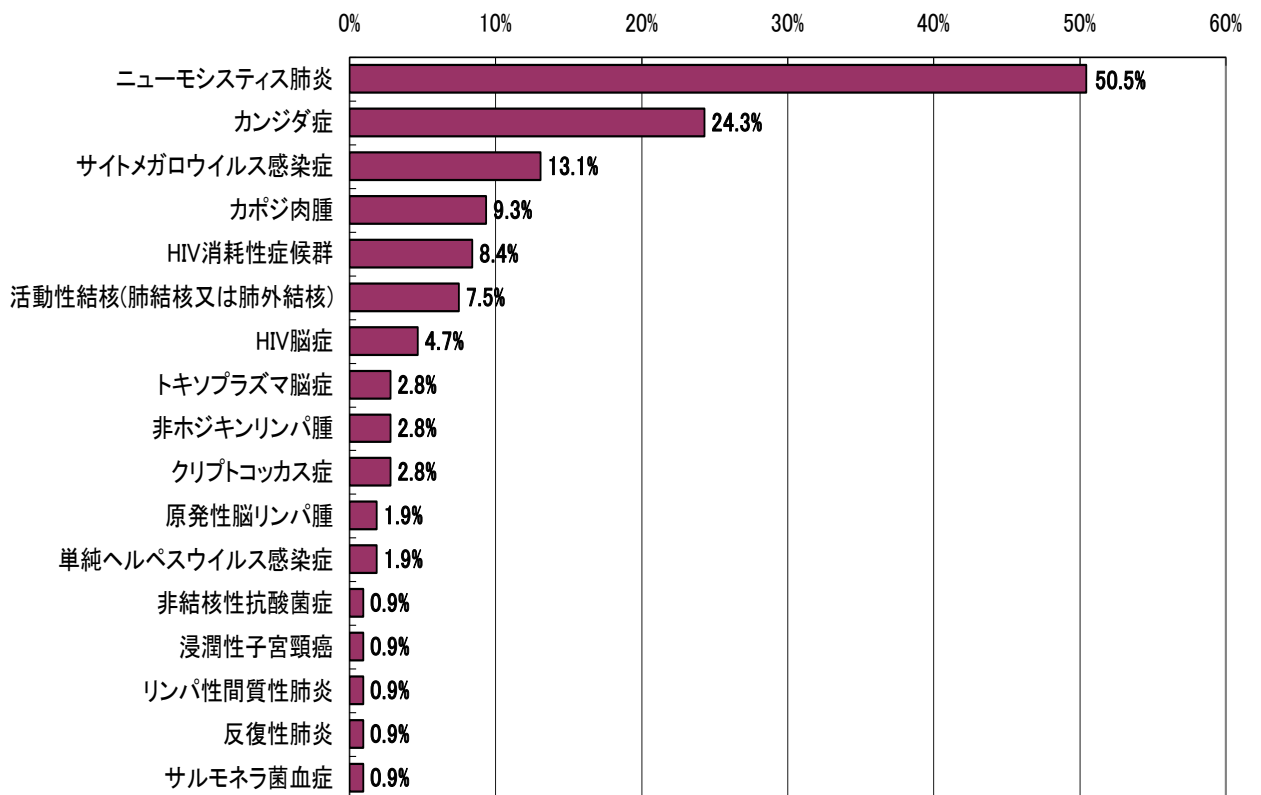


1-19  
東京都の  
AIDS患者の  
年齢別報告  
数年次推移



30歳代以上の報告件数の占める割合が高く、この傾向が続いている。

1-20  
東京都の  
AIDS指標疾  
患  
(平成22年)



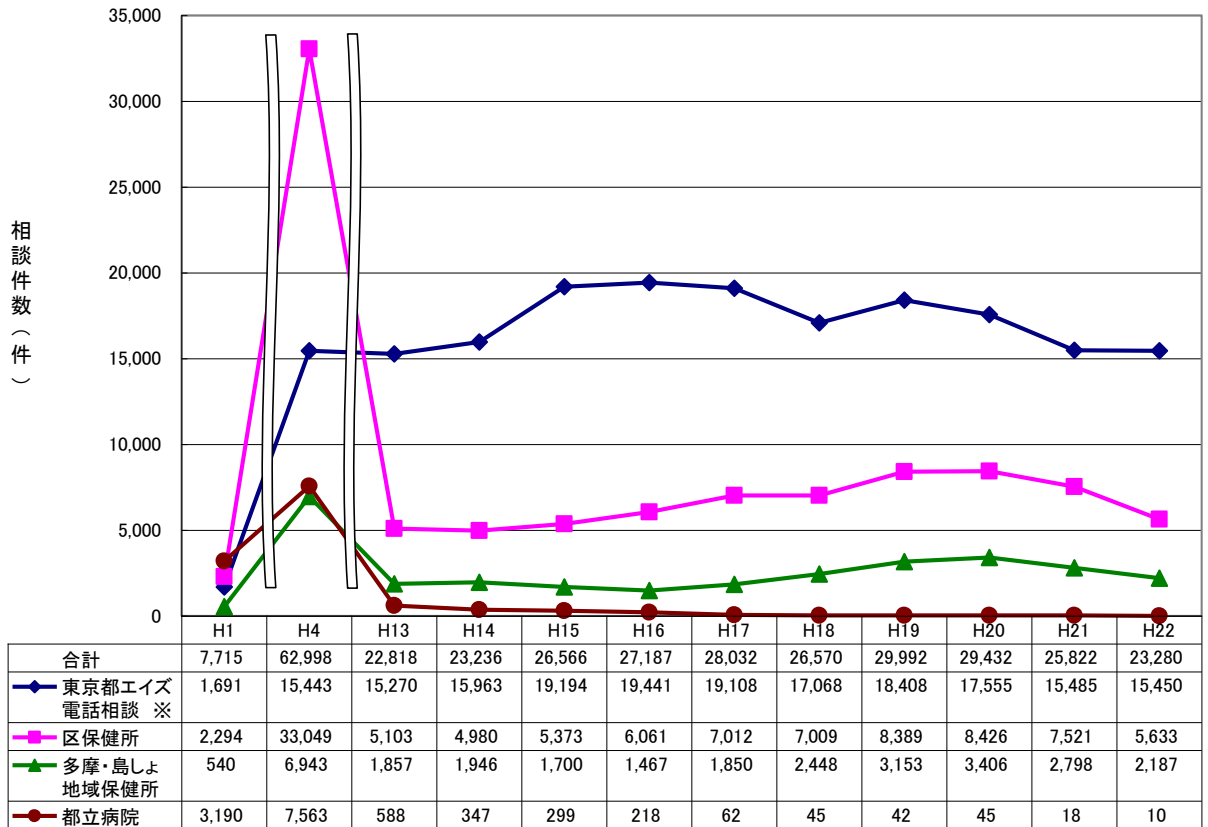
平成22年にAIDSと報告された者の約半数が、ニューモシスティス肺炎によりAIDSと診断されている。次いで、カンジダ症、サイトメガロウイルス感染症、カポジ肉腫、HIV消耗性症候群の順で診断されている。

## 2. 相談・検査・療養体制

### [エイズ電話相談]

#### 2-1

東京都のエイズ電話相談件数年次推移



※「東京都エイズ電話相談」は平成10年度以前はエイズ対策係で実施していた電話相談の件数を含む。また、平成19年4月より、都八王子保健所は八王子市保健所となったが、経年比較をするために、従来の都保健所に含めて計上している。

エイズ電話相談は、エイズが大きな社会問題となった平成4年に一時的に急増した後、減少し、若干の増減はあったが横ばいの状況が続いていた。しかし、平成21年、22年は都エイズ電話相談、都内の保健所ともに前年より減少しており、今後の動向に注意する必要がある。

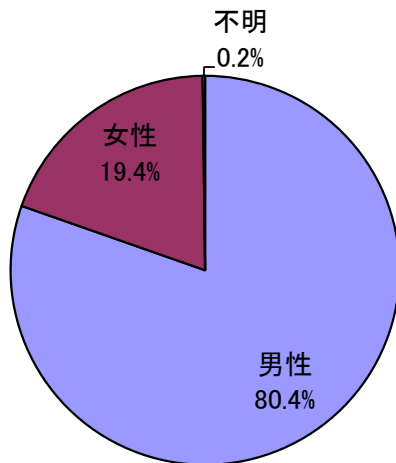
#### 2-2

「東京都エイズ電話相談」における相談者の性別

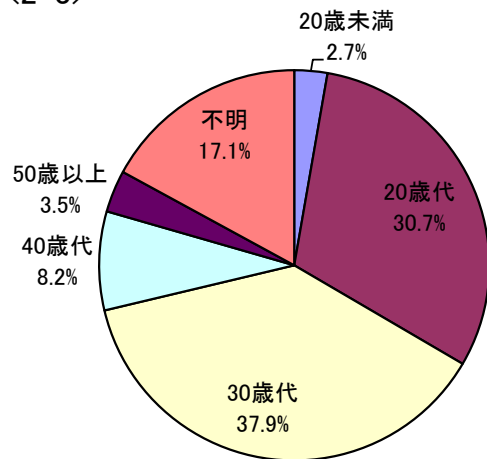
#### 2-3

「東京都エイズ電話相談」における相談者の年齢

<2-2>

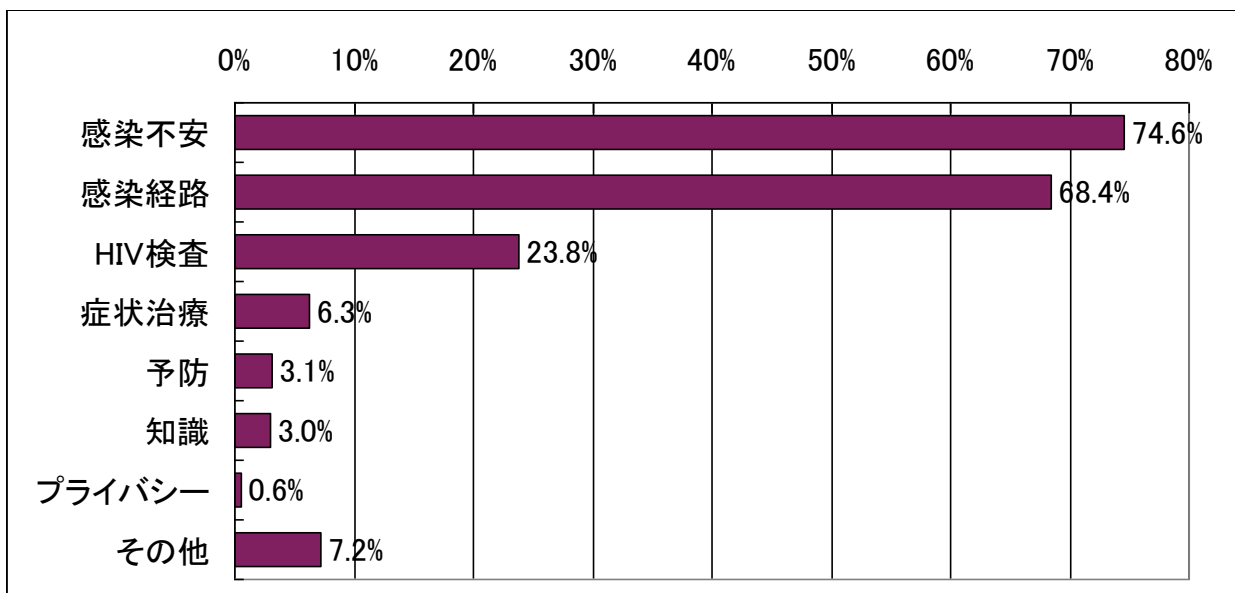


<2-3>



性別については、約8割が男性であった。年齢別に見ると20歳代・30歳代が多く全体の約7割を占めており、ここ数年この傾向が続いている。

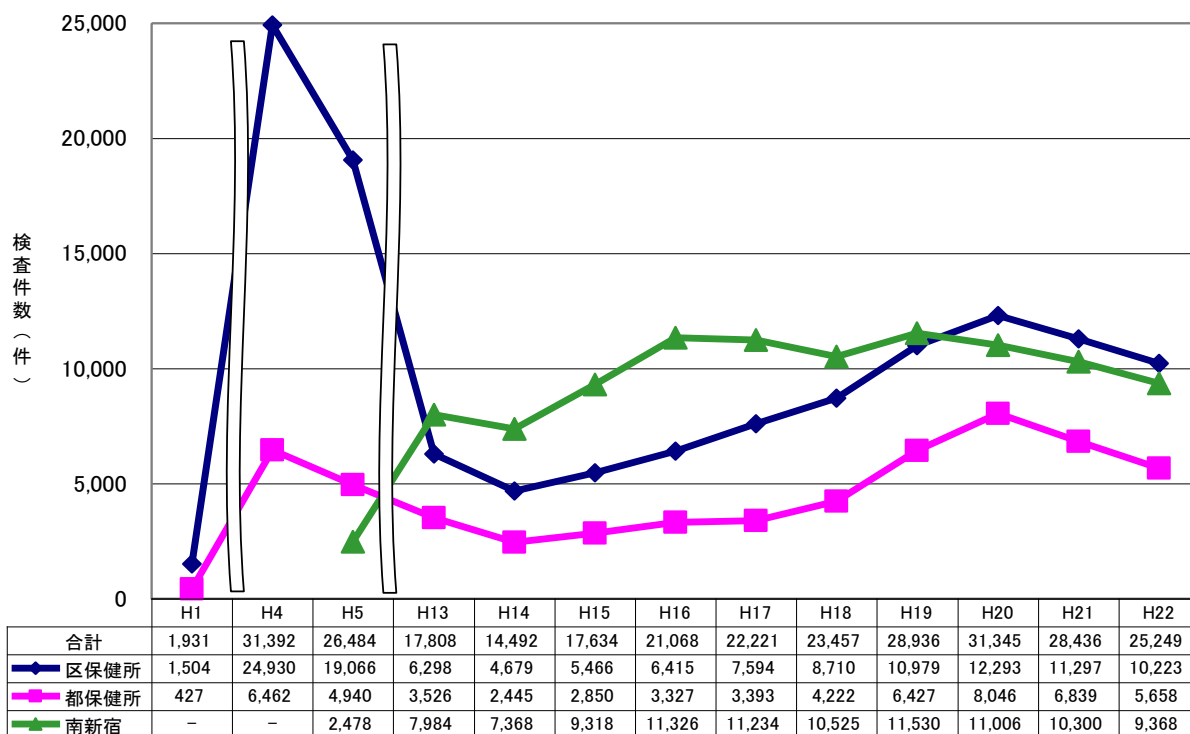
2-4  
「東京都エイズ電話相談」の相談内容  
(平成22年)



東京都エイズ電話相談の相談内容は、感染不安が最も多く、次いで感染経路となっており、ここ数年この傾向は変わっていない。なお、1回の相談で内容が多岐に渡ることも多いため、相談内容を複数計上している場合もある。

[HIV検査]

2-5  
東京都のHIV検査件数  
年次推移



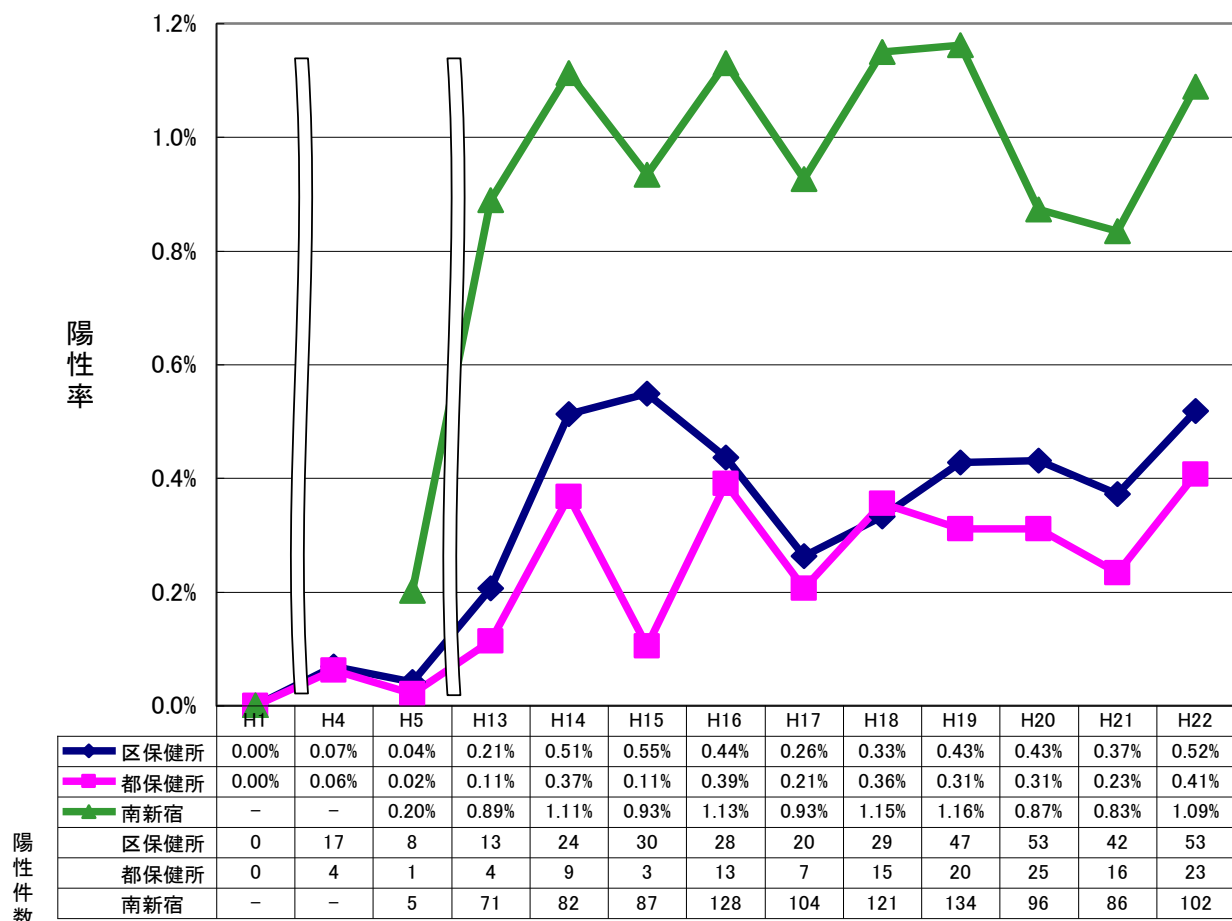
都内の保健所（区、八王子市、都の保健所）の検査件数は、エイズが大きな社会問題となった平成4年に一時的に急増した後、減少し横ばいの状況が続いていた。平成15年以降は増加していたが、平成20年をピークに減少している。都保健所では、多摩府中保健所での検査開始（平成19年）、多摩地域検査・相談室の毎週実施の定着により増加したが、平成21年より減少し、平成22年はさらに前年比約17%の減少であった。区保健所では、港区で委託検査開始（平成20年）などの動きもあり増加していたが、平成21年より減少し、平成22年はさらに前年比約10%の減少であった。

南新宿検査・相談室の検査件数は、土・日曜日の検査を開始した平成15年より増加し、平成16年からは1万1000件前後で推移していた。しかし平成19年をピークに減少傾向となり、平成22年は前年比約9%の減少であった。

平成22年の検査件数合計では、前年比約11%の減少であった。

なお、平成13年5月～10月に都内の保健所ではHIV検査時に希望者にC型肝炎ウイルス抗体検査を無料匿名で行ったため、平成13年の都内の保健所の検査件数は一時的に増加した。

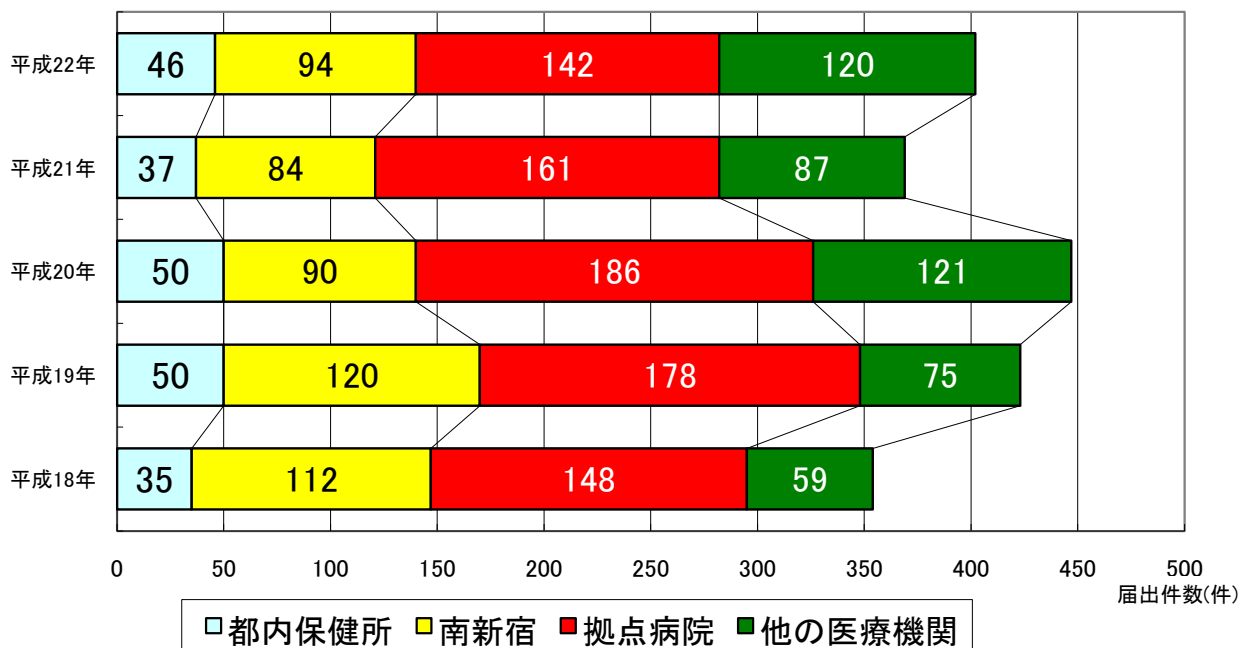
2-6  
東京都の  
HIV検査に  
おける陽性  
件数・陽性  
率年次推移



平成22年は、都内保健所及び南新宿検査・相談室いずれも、陽性件数、陽性率ともに、前年と比べ増加した。検査件数が減少する中で、陽性件数、陽性率ともに増加しているため、今後の動向に注意する必要がある。

[医療機関]

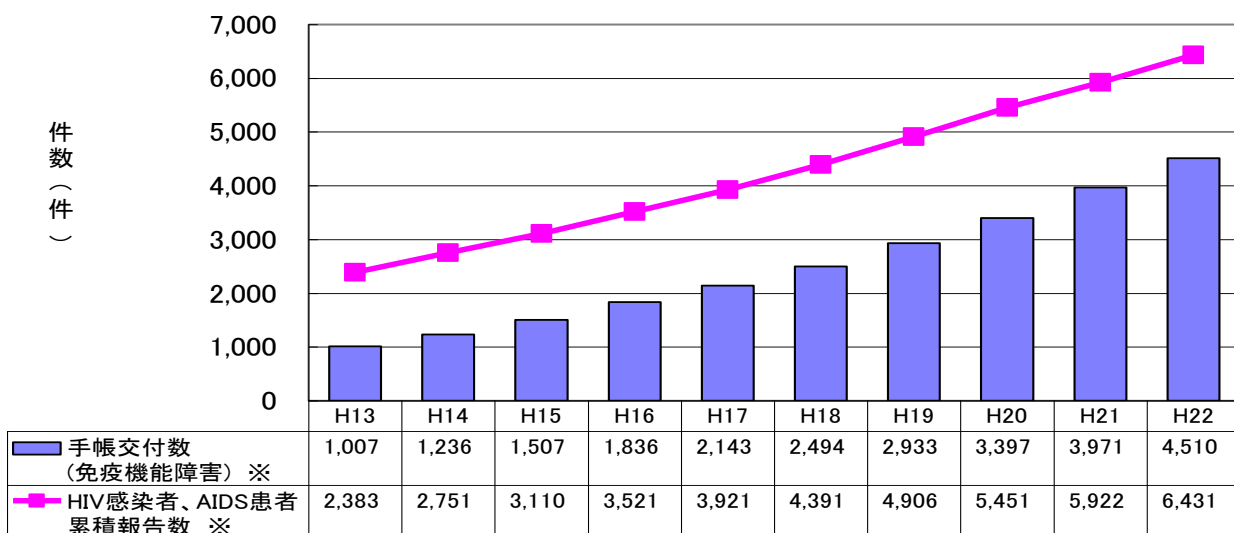
2-7  
東京都の  
HIV感染者  
報告の届出  
別割合  
(平成18年  
～平成22)



平成22年の特徴は、エイズ拠点病院からの届出件数が前年と比べ減少し、それ以外の機関からの届出が増加していることである。特に、エイズ拠点病院以外の医療機関からの届出件数が前年の1.4倍と増加している。

[身体障害者手帳]

2-8  
東京都の  
HIV感染者、  
AIDS患者累  
積報告数と  
身体障害者  
手帳(免疫  
機能障害)



※各年の12月末時点での数値

HIV感染者、AIDS患者の累積報告数の増加とともに、身体障害者手帳(免疫機能障害)の交付数も年々増加している。平成22年はHIV感染者、AIDS患者累積報告数の約7割が手帳の交付を受けている。

[性感染症検査]

2-9  
東京都内の  
保健所、東  
京都南新宿  
検査・相談  
室での性感  
染症検査件  
数と陽性件  
数

		梅毒				淋菌		
		検査数(STS)	検査数 (TPHA)	陽性数	陽性率 (陽性数/STS)	検査数	陽性数	陽性率
区保健所	男	3,652	1,547	81	2.2%	883	1	0.1%
	女	2,843	1,291	18	0.6%	867	13	1.5%
多摩地域保健所	男	1,948	1,946	38	2.0%	1,286	5	0.4%
	女	1,167	1,168	13	1.1%	779	7	0.9%
南新宿	男	1,528	122	110	7.2%	-	-	-
	女	779	4	0	0.0%	-	-	-
合計	男	7,128	3,615	229	3.2%	2,169	6	0.3%
	女	4,789	2,463	31	0.6%	1,646	20	1.2%
		11,917	6,078	260	2.2%	3,815	26	0.7%

		クラミジア				
		検査数	陽性数(IgA)	陽性率(IgA)	陽性数(IgG)	陽性率(IgG)
区保健所	男	3,914	416	10.6%	651	16.6%
	女	2,962	458	15.5%	731	24.7%
多摩地域保健所	男	1,952	207	10.6%	389	19.9%
	女	1,171	238	20.3%	361	30.8%
南新宿	男	1,529	170	11.1%	285	18.6%
	女	772	105	13.6%	221	28.6%
合計	男	7,395	793	10.7%	1,325	17.9%
	女	4,905	801	16.3%	1,313	26.8%
		12,300	1,594	13.0%	2,638	21.4%

梅毒の陽性率は男性が高く、淋菌、クラミジアの陽性率は女性が高い。昨年と比べると、陽性率は梅毒、淋菌、クラミジアともに横ばいである。

### 3. 世界及び全国のHIV感染者・AIDS患者数

○世界のHIV/AIDS流行状況 2009年末現在 (UNAIDS/WHO)    ○日本のHIV感染者、AIDS患者累計数2010年末現在(厚生労働省)

#### HIV感染者数(推計値)

合計	3,330万人 (3,140-3,530 万人)	HIV感染者報告の累計数	12,623人
成人	3,080万人 (2,920-3,260 万人)		
女性	1,590万人 (1,480-1,720 万人)	AIDS患者報告の累計数	5,783人
子供(15歳未満)	250万人 (160-340 万人)		

#### 2009年における新規HIV感染者数(推計値)

合計	260万人 (230-280 万人)
成人	220万人 (200-240 万人)
子供(15歳未満)	37万人 (24-61 万人)

#### 2009年におけるAIDSによる死亡者数(推計値)

合計	180万人 (160-210 万人)
成人	160万人 (140-180 万人)
子供(15歳未満)	26万人 (15-36 万人)

実際の数値は推計値の右側 ( ) 内に記載された数値の範囲内に存在する。  
これらの数値は入手可能な最良のデータを基にして算出されている。

#### ★東京都南新宿検査・相談室 HIV通常検査(匿名・無料・電話又は携帯からの予約制)

ホームページ <http://www.tmsks.jp>

##### 【予約検査】

予約受付番号 03-3377-0811

予約受付時間 月～金(祝日を除く)：午後3時30分から午後7時まで

土・日(祝日を除く)：午後1時から午後4時30分まで

窓口受付時間 月～金(祝日を除く)：午後3時30分から午後7時30分まで

土・日(祝日を除く)：午後1時から午後4時30分まで

※聴覚障害者の方のみ、ファクシミリでの予約申込みができます。

ファクシミリ 03-3377-0821 (予約受付時間は上記と同じ)

#### ★東京都多摩地域検査・相談室 HIV即日検査(匿名・無料・予約制及び先着順)

##### 【予約検査】

予約受付番号 080-2022-3667

予約受付時間 月～金(祝日を除く)：午前10時から午後4時まで

検査受付時間 土曜日(祝日を除く)：午前10時

##### 【先着順検査】

検査受付時間 土曜日(祝日を除く)：午前12時から午後3時まで

問い合わせ先 090-2537-2906 (日・祝・年末年始除く午前9時30分から午後5時まで)

#### ★東京都エイズ電話相談 電話 03-3292-9090

(月～金：午前9時から午後9時まで、土・日・祝日：午後2時から午後5時まで)

※エイズに関する相談・検査(匿名・無料)は各保健所へ(一部性感染症検査も同時に可)